



市長定例会見

- 1 令和8年6月市議会定例会の補正予算について
- 2 女性活躍推進の取組について
- 3 みはら骨育プロジェクトについて
- 4 熱中症対策について

令和8年6月5日（金曜日）

三原市

令和8年6月定例会 補正予算

一般会計と2つの特別会計で 4億 3,615万円を増額

①一般会計

+ 4億 3,415万円

②国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計

+ 30万円
※事業費の増

③介護保険特別会計

+ 170万円
※事業費の増

一般会計 4億 3,415万円の内訳（主なもの）

1. 総合経済対策に関するもの

〔+1億 9,494万 6千円〕

★(1) 物価高騰対応重点支援事業費

補正額 1億 9,494万 6千円

2. 国・県支出金の増に伴うもの

〔+3,221万 5千円〕

★(1) コミュニティ交通推進事業費

補正額 1,905万円

(2) 農業用施設改良事業費（長谷排水機場除塵機更新事業）

補正額 1,040万円

★(3) 体力向上支援事業費（部活動の地域展開等推進事業）

補正額 276万 5千円

3. 事業費の増に伴うもの

〔+2億 1,081万 3千円〕

(1) 電算管理事務費

補正額 4,000万円

(2) 民生委員活動事業費

補正額 191万 6千円

★(3) 障害者援護事業費（社会福祉施設整備費補助事業）

補正額 1,653万円

(4) 生活保護費給付事業費

補正額 1億 400万円

(5) 施設維持管理費（清掃工場）

補正額 820万円

★(6) 公園整備事業費

補正額 1,000万円

★(7) 施設維持管理費（学校給食施設）（県産農林水産物給食等提供事業）

補正額 1,003万 7千円

令和8年6月定例会 補正予算 一般会計 4億 3,415万円の財源内訳

<p>特定財源</p>	<p>+ 3億 470万 9千円</p>	<p> 国庫支出金 + 2億 6,694万 5千円 県支出金 + 1,916万円 市債 + 200万円 分担金・負担金 + 88万 9千円 寄附金 + 1,000万円 諸収入 + 571万 5千円 </p>
<p>一般財源</p>	<p>+ 1億 2,944万 1千円</p>	<p> 県支出金 + 95万 7千円 繰入金 + 2,500万円 繰越金 + 1億 348万 4千円 </p>

総合経済対策（地方創生臨時交付金の活用状況）

<担当課：企画政策課>

本市では、「地方創生臨時交付金」を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援を行っています。

区分	令和8年度 交付限度額	交付金活用事業 の事業費	備考
推奨事業メニュー分 (令和7年度からの本省繰越分)	2億 4,190万 3千円	7,245万 9千円	令和8年度当初予算計上分 (給食費負担軽減事業)
		<u>1億 9,494万 6千円</u>	<u>今回補正分</u>
計	2億 4,190万 3千円	2億 6,740万 5千円	差額2,550万2千円は一般財源 を活用

総合経済対策（商品券配布事業（令和7年度未受領者分））

＜担当課：企画政策課＞

令和7年度に実施した「商品券配布事業」において、商品券未受領となっている者に対して、商品券を配布します。

<p>目 的</p>	<p>エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者に対して、商品券を配布することにより、生活に係る費用の負担を軽減する。</p>
<p>対 象 者</p>	<p>令和7年度に実施した商品券配布事業において、未受領となっている者 1,064人</p>
<p>内 容</p>	<p>一人当たり 8,000円分の商品券を配布</p>
<p>配布期間</p>	<p>令和8年8月頃～令和9年2月頃まで</p>
<p>参考 R7年度の 実施状況</p>	<p>配布期間：令和8年2月18日～令和8年3月17日 配布対象人数：85,808人（令和8年1月1日時点で三原市の住民基本台帳に登録されている人） 配布人数・配布率：84,744人・98.8%</p>

総合経済対策（賃上げ支援事業）

＜担当課：商工振興課＞

物価高騰等の影響による厳しい経営状況の中、雇用維持、人材確保等のために賃上げを行う市内の中小企業者等へ補助します。

目的	物価高騰等の影響による厳しい経営状況の中、雇用維持、人材確保等のために賃上げを行う市内の中小企業者等を支援する。
対象者	市内に本社若しくは本店又は主たる事業所を有する法人 市内に住所を有し、かつ事業所を市内に有する個人事業主
内容	補助額：従業員一人当たり 2万円（上限 5人、10万円） <主な要件> ・賃上げ率：2.0%以上（基本給） ・賃上げ対象期間：令和7年4月1日～令和8年12月31日
申請期間	令和8年8月3日(月) から 令和9年1月29日(金) まで（予定）

総合経済対策（社会福祉事業者等支援給付金事業）

＜担当課：保健福祉課、障害者福祉課、高齢者福祉課、こども保育課、子育て支援課、教育振興課＞

物価高騰の影響で経営負担を強いられている医療・障害・介護・保育等の施設等の事業継続を支援します。

事業名/補正額	(上段) 対象事業者等 (下段) 対象施設等の箇所数 / 1か所当たり給付額
世羅中央病院企業団支援給付金事業 105万 6千円	世羅中央病院企業団 世羅中央病院：104万円 くい診療所：1万6千円（企業団に対する三原市負担割合分） ※私立病院等に対する県の補助事業単価と同額
社会福祉事業者支援給付金事業 3,649万円	障害福祉サービス事業者 入所施設：4施設 / 50万円 通所系事業所：44事業所 / 15万円 訪問系事業所：1事業所 / 7万円
	介護保険事業者 入所施設（30人以上）：17事業所 / 50万円 通所系事業所：74事業所 / 15万円 入所施設（30人未満）：11事業所 / 20万円 訪問系事業所：86事業所 / 7万円
児童福祉事業者支援給付金事業 270万円	保育施設の運営法人 利用定員 19人以下：3施設 / 7万円 99人以下：12施設 / 15万円 199人以下：2施設 / 20万円
	民間放課後児童クラブ：2事業所 / 7万円 母子生活支援施設：1施設 / 15万円
特定教育・保育事業者支援給付金事業 90万円	特定教育・保育施設の運営事業者 利用定員 99人以下：2施設 / 15万円 199人以下：3施設 / 20万円

総合経済対策（地域公共交通事業者支援給付金事業）

＜担当課：地域企画課＞

燃料費等の物価高騰により、事業への影響が大きい路線バス・タクシー・定期航路事業者を支援します。

目的	燃料費等の物価高騰により、事業経営に影響を受けている市内の公共交通事業者の事業継続を支援する。
対象者	①市内を運行する路線バス事業者 ②市内に営業所を有するタクシー事業者 ③市内の港を発着する航路を運航する航路事業者（休止中の航路を除く。）
内容	①路線バス事業者 4事業者 1,000万円 平均250万円×4事業者 ②タクシー事業者 21事業者 264万円 2万4千円×110台 ③定期航路事業者 4事業者 616万円 150万円×5航路×平均寄港割合42% 810万円×1航路×市内運航距離割合37.09% ①～③合計 1,880万円

地域コミュニティ交通確保維持改善事業（久井・大和地域）

〈担当課：地域企画課〉

地域内に生活必需サービスが不足する久井・大和地域において、地域外の買い物施設等への移動を可能とする地域コミュニティ交通の導入を進める。

※国土交通省 令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」（「交通空白」解消タイプ）に採択

〔事業内容〕

1 地域外への移動を可能とする実証運行の実施

※運行内容は予定（住民組織・交通事業者と協議し、今後、決定する）

- 期間 令和8年10月～令和9年1月
- 頻度 週2日程度
- 区域 久井・大和地域内の自宅等から
地域外の買い物施設等付近までの運行
- 車両 普通車（ワンボックスカー等）



イメージ
(写真は、現在の大和ふれあいタクシー車両)

2 令和9年度以降の運行計画の作成

実証運行の実施と並行して、専門事業者の支援を受けながら、既存の交通サービスとの役割分担や連携方法を検討し、利便性が高く、持続可能な地域コミュニティ交通の運行に向けた計画を作成する。

部活動地域展開等推進事業

〈担当課：学校教育課〉

休日における部活動の拠点を拡大し、地域展開に向けて体制整備を行います。

目的	休日の部活動の地域展開に向けて体制整備を行い、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を兼ね備えた、円滑な展開に備える。
事業内容	<p>内 容： ・関係者との連絡調整、指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備 ・指導者の質の保障と量の確保 ・関係団体・分野との連携強化 ・参加費用負担の支援等</p> <p>種 目： 運動部活動・・・卓球、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、 NEW 軟式野球、ソフトテニス 文化部活動・・・吹奏楽 ※種目数を文化部活動を含めた7種目に拡大</p> <p>対 象： 市立中学校に在籍する全ての生徒</p> <p>活 動 日： 学校休業日（年間36回程度）</p> <p>事 業 費： 指導員謝金、消耗器材費、指導者の損害責任保険料</p>

社会福祉施設整備費補助事業

<担当課：障害者福祉課>

土砂災害特別警戒区域にある障害者支援施設の移転整備費用に対し、国・県の補助金に加え、市が独自に補助します。

《対象事業者》 社会福祉法人みどりの町

《対象施設》 ルネサンスだいわ

《整備場所》 大和町和木（現：大和町箱川）

《施設の主な機能》 障害者支援施設

（利用定員 入所40人、短期入所2人）



《補助金額》

国庫補助基本額×95%×1/16
=1,653万円を補助

事業費	国庫補助 基本額	市 補助金額	事業者 負担額
5億 3,790万円	2億 7,840万円	1,653万円	2億 4,297万円

公園整備事業

〈担当課：都市開発課〉

令和8年4月28日に、株式会社ヤマト実業様から船木防災公園（ヤマト防災パーク）の施設整備に係る寄附を受領しましたので、遊具を整備します。

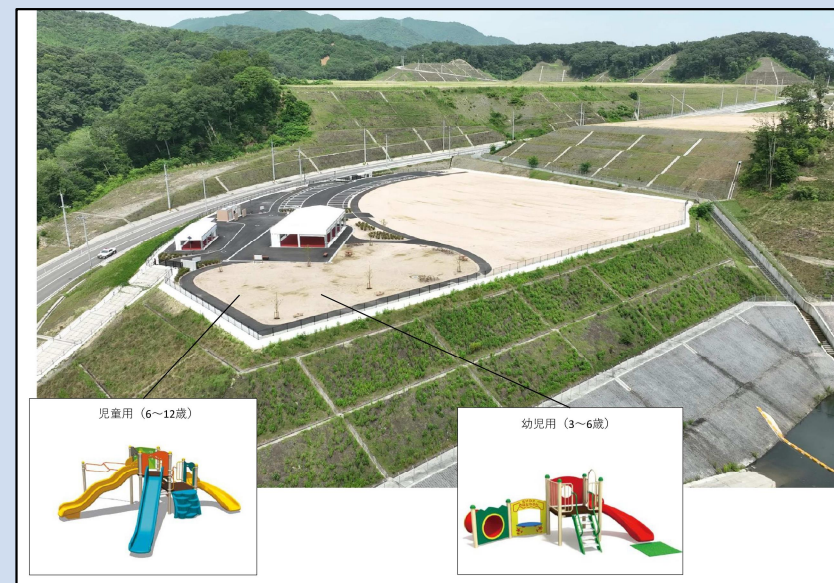
事業内容

公園内に遊具を整備し、幅広い世代が楽しめる公園環境をめざします。



位置図

国土地理院地図を加工して作成



遊具設置イメージ図

県産農林水産物給食等提供事業

〈担当課：学校給食課〉

学校給食の充実と子どもたちの地域への愛着心の醸成などを目的に、県産農林水産物を使用した給食等を提供します。

事業概要	・食材に県産農林水産物を使用した給食の提供 ・食材の魅力や生産者のこだわりを伝える食育活動を実施
対象者	市立小中学校の児童、生徒、教職員等 6,010人
使用する食材	県産の和牛肉、水産物、野菜・果物、乳製品など
実施時期と回数	令和8年9月～令和9年1月、6回（予定）
食材費	一人当たり1,670円/年
財源	県：農林水産物給食等提供事業交付金（10/10）



女性活躍推進の取組について

就労に意欲のある女性を支援するため、取組を推進中

課題

子育て期にある女性が、出産や子育てなどを機に仕事を辞めた後、働く意欲はありながら再就職できていない
(H30年度に市が実施したアンケートから)

取組

R4年度 女性の「もう一度働く」を応援する取組として、事業を開始

R5年度 新たな事業を追加（現在3事業を展開）



3つの取組と成果 ①ママワークスクール（Re.stepプログラム）

専門講師による伴走型就労支援プログラム

概要

対象 就労を希望する
市内在住の女性

内容 専門講師による複数回の
就活準備支援講座

ポイント ブランク等による就労前の不安を解消
市内企業との就労マッチングイベント
（ママドラフト会議）を開催

成果

受講者 R4～7 合計83人
就労者数 37人



▲ママドラフト会議



▲講座の様子

3つの取組と成果 ② 女性活躍推進アドバイザーの派遣事業

誰もが働きやすい職場環境整備を考えるきっかけづくり

概要

対象 従業員100人以下の市内事業者

内容 広島県から認定を受けたアドバイザーが、事業者を訪問し、「一般事業主行動計画」の策定を支援

ポイント 現状の課題整理から数値目標の決定、内容確認、実行までの一連をアドバイス

成果

アドバイスを受けた企業数 6社

計画策定した企業数 5社



▲企業訪問しアドバイス

3つの取組と成果 ③女性デジタル人材の育成事業

在宅就労が可能となる「テレワークスキル」や「専門的なデジタルスキル」を習得するプログラム

概要

対象 働く意欲がありながらも、子育てや家事等で外出することが難しい、市内在住の女性

内容 在宅就労が可能となる「デジタルスキル」を習得するプログラム

(1)テレワークスキルアップ講座

テレワーク業務の始め方から仕事体験まで学べる

(2)デジタルスキルアップ講座

就労に直結するデジタルスキルを習得
Salesforce認定資格の取得

成果

(1) テレワークスキルアップ講座 【R5～7】

受講者 113人
就労決定 43人

(2) デジタルスキルアップ講座 【R6～7】

受講者 17人
就労決定 8人

受講者合計 130人
就労決定 51人



募集中

みはら Tech Woman



令和8年9月～令和9年2月

みはら TECH WOMAN
テックウーマン

研修参加者募集

三原市は株式会社 Surpass と連携し、三原市在住の働きたい女性に対して、IT 技能をリスキリング（学び直し）をする機会を提供します。

9月

テレワーク・ビジネス基礎講座
(Microsoft Office等)

9～1月

専門的なデジタルスキル講座
(Salesforce)

11～2月

OJT研修

随時

自己学習、学習支援、キャリア面談

講座のポイント

市内在住の女性で求職中の人を対象としたデジタルスキル習得とその後の就労をめざすプログラム

- ▶ テレワークスキルアップ講座とデジタルスキルアップ講座を統合
- ▶ 専門的なデジタルスキル (Salesforce) を習得
- ▶ 基礎的なPCスキルを学ぶ内容を追加し参加しやすい講座に
- ▶ 受講女性と市内企業との交流会 (初開催)
- ▶ 定員20名。参加者の受講料は無料



←三原市HP

募集中

みはら Tech Woman

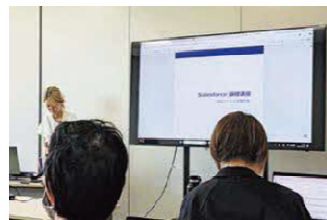
受講後の様子

過去2年間の受講生が、習得したスキルを活かして
自分にあった働き方を実現

- ▶ 令和6年度受講生
1日4時間ほど**フリーランス**として
在宅ワークを実施



- ▶ 令和6年度受講生
受託事業者からの**業務委託**により
今年度講座の講師予定



- ▶ 令和7年度受講生
Salesforceの**販売事業者**で
今月末頃から**正社員**として**在宅勤務**を開始予定

事前説明会

日時：令和8年7月15日（水）10時～12時

会場：三原市役所 3階 会議室301・302

※現地参加が難しい場合はオンライン配信で視聴

- ▶ 研修で学ぶ内容（営業支援ツール、IT基礎知識など）
- ▶ 研修終了後のキャリアイメージ
- ▶ 質疑応答

事前説明会の申込期限

令和8年7月13日（月）17時



←三原市HP

募集中

就活準備のためのママワークスクール Re.stepプログラム

三原市女性活躍推進事業
もういちど”わたしらしく”働きたい！

RESTEP PROGRAM

リステッププログラム

就活準備のための
ママワークスクール

講座スケジュール

6.25 [木] 10:00 - 12:00
子育てもキャリアに
ステップアップ講座

7.9 [木] 10:00 - 12:00
自分に似合うスタイルを知らう
スタイルアップ講座

9.3 [木] 10:00 - 12:00
働く上で必要なデジタル知識をアップデート
IT・AI活用講座

9.11 [金] 10:00 - 12:00
履歴書でわたしが輝く
ブラッシュアップ講座

9.25 [金] 10:00 - 12:00
年収の壁を知って自分らしい働き方を知る
みらいデザイン講座



プログラム詳細



スクールのポイント

市内在住の女性で就労を希望する人を対象とした
専門講師による全5回の就労支援のプログラムです。

- ▶ 子育てや家事等との両立や、ブランク等による不安を解消
- ▶ 自分の強みや可能性を再発見し、自信をつけて「働く」にチャレンジ
- ▶ 市内企業との就労マッチングイベント（マドラフト会議）
- ▶ ライフワークコンシェルジュによる継続した伴走支援

マドラフト会議® in みはら

2026

10.9 [金] 多様な働き方に理解のある市内企業との、
交流イベントを開催します。
担当者と直接話をする事で、求人票では知ることが
できない様々な魅力を是非感じてください！



申込期限

令和8年6月12日（金）



←三原市HP

こついく

1 みはら 骨育プロジェクト始動！

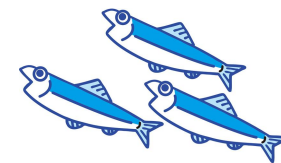
「みはら骨育プロジェクト」とは、健診・食・運動・介護予防など、日常のさまざまな場面で「骨の健康づくり」を進める、新たな取組

プロジェクトの3つの柱



① 健診や教室で 「骨を知って備える」

② 食や運動で 「骨をつくる」



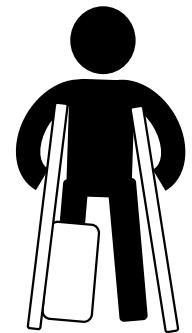
③ 転ばない体で 「骨を守る」



2 なぜ骨が大切??

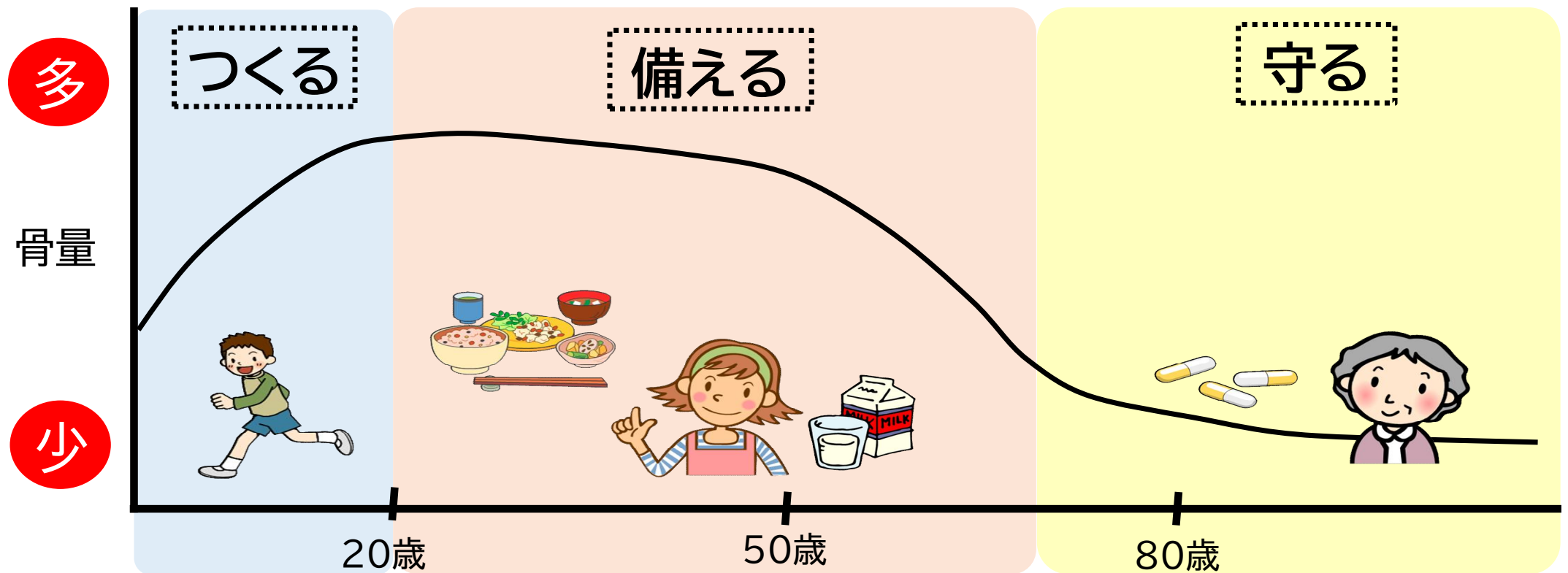
【答え】骨折が健康寿命を縮めるから

- ・骨折は、要介護の大きな原因
- ・骨折にかかる医療費は、県内でワースト**5**位



3 骨の健康づくりはいつするの？

【答え】すべての年代で、「今」始める



公益財団法人 骨粗鬆症財団ホームページ参考に作成

4-① 健診で「骨を知って備える」

骨粗しょう症検診

- ・骨密度を測定⇒早期発見・早期予防
- ・対象：40歳～70歳の市民
- ・自己負担500円
- ・実施時期：7月・10月・2月 年18回(地域集団健診)



骨の健康の維持につなげます

4 – ① 身近な場所で「骨を知って備える」

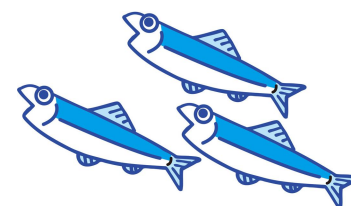
- ・骨粗しょう症予防の公開講座(11月)
- ・骨育をテーマとした講演会(10月)
- ・「健康プラスみはら」やSNSでの情報発信
- ・中央図書館とコラボした関連書籍の紹介

骨の健康への関心を高めます



4-② 食や運動で「骨をつくる」

骨育レシピコンテスト



- ・骨に良い主菜1品を募集(7月1日から8月31日まで)
- ・対象:市内在住または市内に通学する中高生
- ・審査方法:市民投票で入賞3作品を決定

暮らしに溶け込む骨づくりを推進します

4 - ② 食や運動で「骨をつくる」

- ・運動に関するすべての事業で骨の健康をプラス
- ・運動＝骨をつくる

①年6回ウォーキングイベント

②年1回ウォーキング基礎講座

③運動普及リーダー養成講座 など



4－③ 転ばない体で「骨を守る」

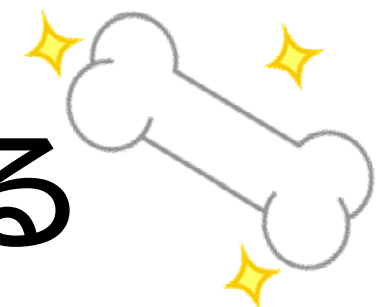
- ・出前講座での転倒予防
(地域のサロンや老人クラブで実施)
- ・介護予防事業での転倒予防



骨折予防につながる取組を推進します

5 みはら骨育プロジェクトの効果

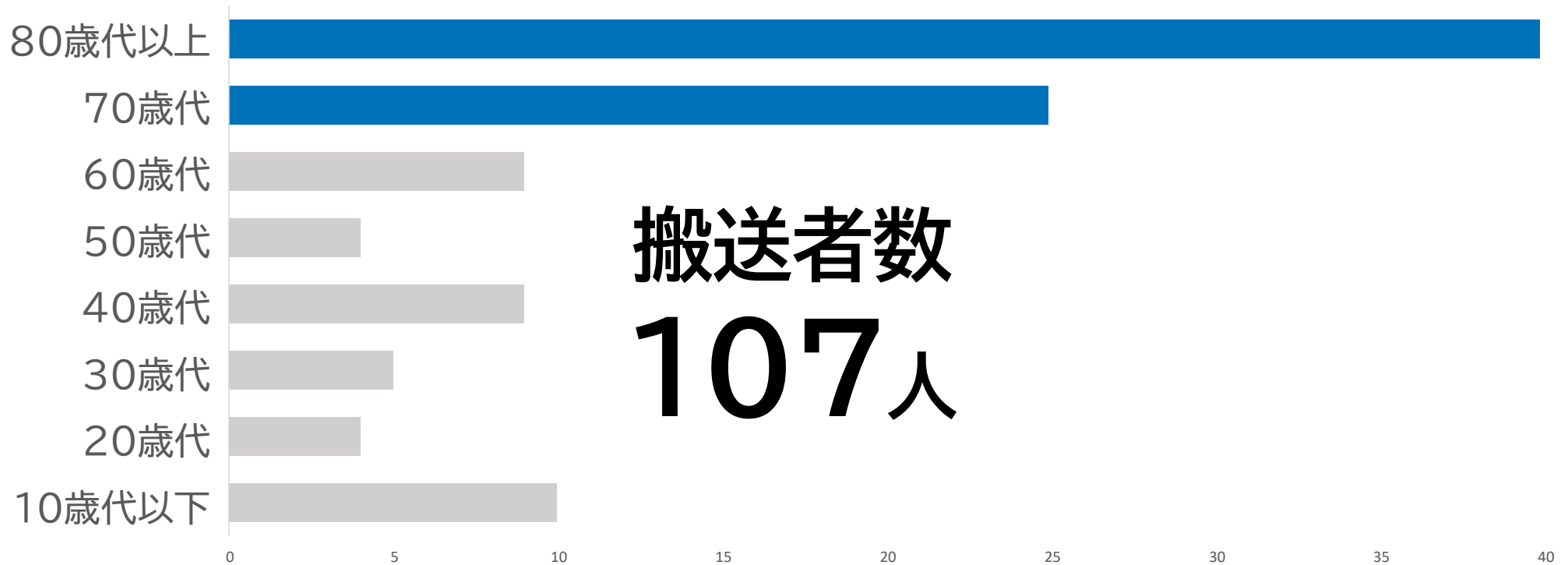
骨の健康づくりで、
人生100年時代を支える



- ・健診・食・運動・地域活動など、さまざまな場面で、
全世代の骨の健康づくりを進めます。

1 市の状況

年代別搬送者数(R7)



搬送者数
107人

熱中症で搬送された人の63%が高齢者

三原市消防本部調査

1 市の状況

重症度別

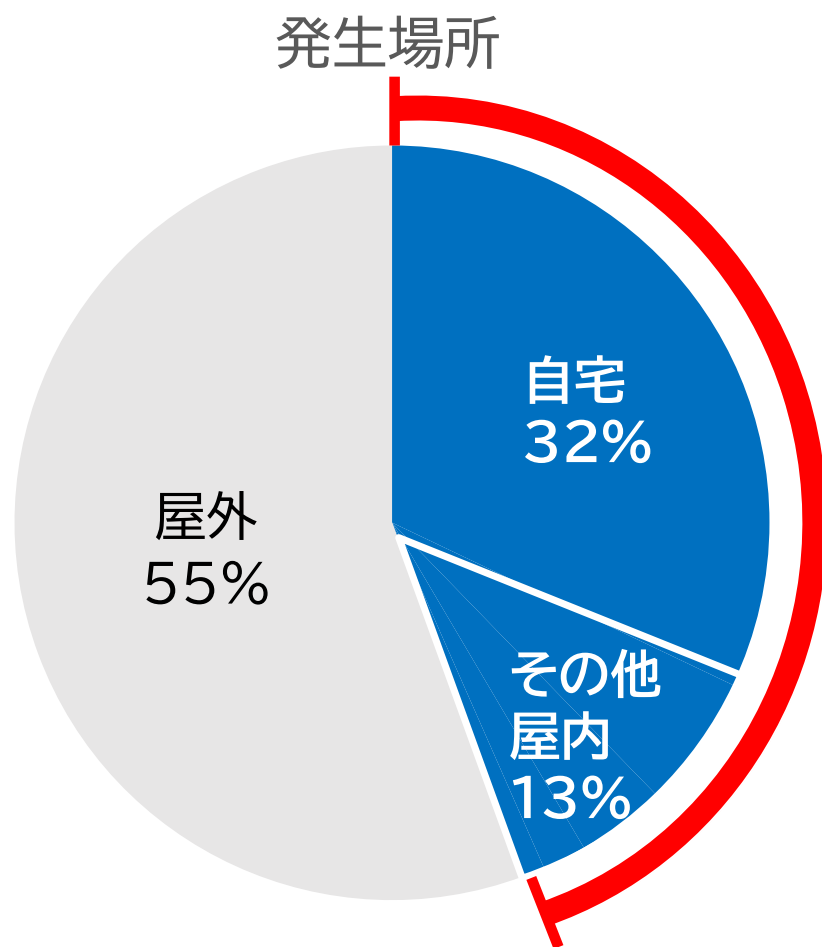
	軽症	中等症	重症
18歳未満	3	5	0
18歳以上～65歳未満	18	11	2
65歳以上	23	40	5

搬送された65歳以上の65%が中等症以上

搬送された18歳～65歳未満の人の46%が中等症以上

三原市消防本部調査

1 市の状況



屋内で
熱中症を発症

45%

三原市消防本部調査

2 特に注意を

高齢者



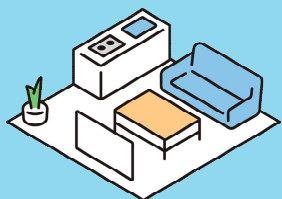
救急搬送される人の多くは、**高齢者**

→暑さを感じにくく、体温調節が難しい

高齢者は**重症化**しやすい

→体内の水分量が少なく、脱水になりやすい

屋内



屋内でも熱中症になるリスクは高い

→危険に気づきにくく、熱がこもりやすい

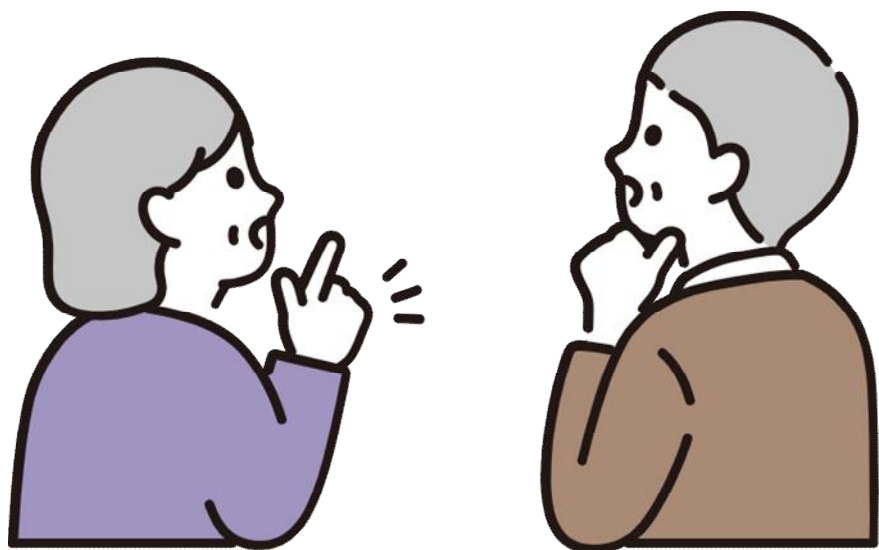
全年代



若い人も、熱中症になる

→無理をしやすく、水分補給が遅れがち

3 熱中症予防の取組 ～普及啓発～



- ふれあい いきいきサロンや
介護予防教室での、普及啓発
- 出前講座のメニューに、
新たに「熱中症対策」を追加し、
地域の団体に対して普及啓発
- 高齢者相談センターやケアマネジャー、
民生・児童委員等の支援者による
訪問時の声かけ

3 熱中症予防の取組 ～周知啓発～

Otsuka **熱中症からカラダを守ろう**
監修：早稲田大学 人間科学学術院 体温・体液研究所教授 医師/博士(医学)永島 計先生

近年、地球温暖化による気温上昇等により熱中症リスクが高まっています。
 熱中症のリスクを下げるためには、「深部体温の上昇を抑える」「水分のバランスを整える」
 この2つを同時に行うことが効果的です。

熱中症の実態

深部体温上昇 脱水 (高体温)

「熱」・「水分バランス」のコントロールで熱中症対策

アイススラリー + イオン飲料

体温が上昇し、脱水がすすむと水分バランスの乱れや体温調節機能が低下します。その結果、熱中症が引き起こされます。熱中症発症リスクを軽減するためには、水分バランスを適切に保ち、体温調節機能を維持することが重要です。そのためにはカラダの内部冷却と水分電解質補給をセットで実践することが効果的な対策と考えられます。

熱中症予防のポイント

熱(体温)をコントロールしましょう

室内環境の調節
上手にエアコンを使用しましょう。

体表からの冷却
=外部冷却

体内からの冷却
=内部冷却

内部冷却の手法の1つがアイススラリーです。アイススラリーは、流動性が高いことから通常の水や飲料よりも、体内の熱をしっかりと吸収し、効果よく身体を冷やすことができるというメリットがあります。暑熱環境下では、活動前に身体を冷やすプレクーリングが最近注目されています。

アイススラリーの特徴

粒子が大きくて軽い 粒子が小さくて流動性がある

水分バランスをコントロールしましょう

食事をきちんと摂りましょう
1日3回の食事で約1,000mlの水分がとれます。
※特に朝食欠食には気を付けましょう。

こまめに水分補給をしましょう
通常の生活では1日あたり1,200mlを目安に水分補給をしましょう。
 1日に8回くらい、1回にコップ1杯程度の水分補給を目安にすると良いでしょう。
※汗をかく状態には、失った水分と塩分を補うよう心がけましょう。
日本体育学会が推奨する水分補給の目安は、こちらを参照ください。

水分補給の工夫

こまめに水分と塩分を一緒に摂ろう

汗をたくさんかくと、水分と一緒に塩分も失われます。水分と塩分の補給にはイオン飲料がオススメです。

おすすめの飲料は / 塩分 **0.1~0.2%** 食塩相当量 **0.1~0.2g(100mlあたり)**

出典：日本体育学会「日本体育学会が推奨する水分補給の目安」(2017年)熱中症予防ガイドブックより

大塚製薬と連携して作成したリーフレットの設置、配布

- ちらしの記載ポイント
- 体温のコントロール
 - 水分バランスのコントロール
 - 暑さに備えた身体作り

3 熱中症予防の取組～周知啓発～

あらゆる方法での予防を情報発信

市公式LINE



暑くなる前や暑さが厳しい時期に情報発信 年4回(R7)

広報みはら

熱中症に注意を

湿度や気温が高くなると、熱中症を発症しないための対策が必要です。「小まめに水分を取る」「扇風機やエアコンを使う」「外出時には日傘を差す、帽子を着用する」などの対策をしましょう。

☎ 保健福祉課
(TEL 0848-67-6053)



暑くなる前の5月に広報みはらに掲載

市公式ホームページ



市ホームページのトップ画面で注意喚起

3 熱中症予防の取組 ～周知啓発～



映像を活用した予防の啓発

方法：

- 庁舎や商業施設のモニターで動画放映
- 市内ケーブルテレビで動画放映

3 熱中症予防の取組 ～周知啓発～

広域での普及啓発事業「備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクト」

官民連携の推進

- 行政のみでは、多様化・複雑化する課題やニーズにきめ細かく対応することが困難
- 企業・団体など多様な主体のノウハウを活用し、事業効果を高める連携を推進

○ 熱中症対策【大塚製薬株式会社との官民連携】 (備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクト)

- 熱中症による救急搬送者数の減少や死者数のゼロをめざし、備後圏域内の市町・企業・団体等が、熱中症対策に係る啓発等の取組を行う
(参考:2025年度〔5月～9月〕 救急搬送者数823人、死者数2人)

キックオフ会議 5月8日
 参加団体数 50
 取組期間 5月～9月
 成果報告会 11月頃開催予定



5月8日 キックオフ会議



企業の取組



- 社員の熱中症対策アンバサダー取得
- チラシ等での啓発・情報発信
- SNSの活用
- 「熱中症対策」に関する商品の販促 など

行政の取組



- 公共施設、民間施設へのクーリングシェルター設置
- 保健師による出前講座
- 保健師や救急救命士による熱中症セミナーの開催
- のぼり旗設置 など

報道機関の取組



- ニュース番組で取り上げ
- SNSを活用した呼びかけ
- アナウンサーや番組出演者等によるアンバサダー取得 など

備後圏域の市町・企業・大学等が連携し、熱中症対策を啓発

備後圏域オリジナルの「熱中症啓発ポスター」を活用

(出典)令和8年5月29日開催令和8年度第1回備後圏域連携協議会資料

4 特別警戒アラートが出たときは、涼しい施設に避難！

【NEW】市内の全ての郵便局をクーリングシェルターに指定

- ・市内の全ての郵便局27か所(受入可能人数52名)を指定
- ・指定施設が50か所から77か所に拡大！！

令和8年6月25日
運用開始！

【協定書調印式の概要】(予定)

日時: 令和8年6月25日(木)14時～

場所: 三原市役所市長応接室

参加者: 三原市長、三原郵便局長

内容: 代表者挨拶、署名、記念撮影

三原市指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER

ここで涼もう！



「熱中症特別警戒情報」が発表されたときに、暑さをしのげる場所として開放する施設です。

- 利用する際の注意事項
 - ・施設のルールを守ってご利用ください。
 - ・クーリングシェルターとしての開放は「熱中症特別警戒情報」が発表されたときです。
 - ・飲料は各自でご用意ください。
 - ・指定場所の温度調整はできません。
 - ・利用できる日時・場所は、指定施設の開館している日時及び指定した場所のみです。
- ※開館時間終了時には、ご退館ください。

三原市指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER

三原市
MIHARA

5 命を守る行動を

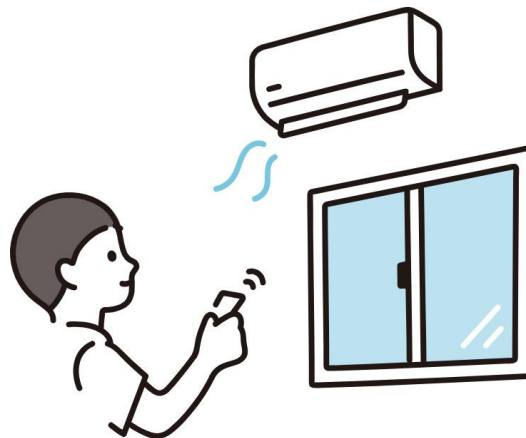
熱中症は予防できる！

こまめな水分補給



喉が渴かなくても、
こまめに水分・塩分を補給

扇風機・エアコンで 温度調整



扇風機・エアコンを
上手に使って、室温を調整

暑さを避ける



- ・暑い日や時間帯の活動を避ける
- ・涼しい場所に行く
- ・暑い日は無理をしない

6 熱中症が疑われる場合は…

涼しい場所へ避難

エアコンが効いている室内や風通しの良い日陰などに避難する

体を冷やす

衣服を緩め、身体を冷やす

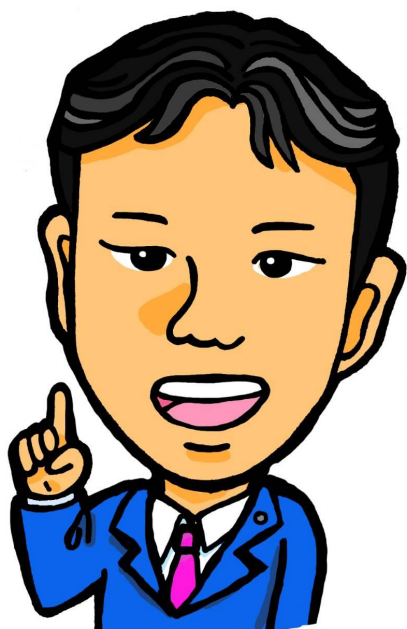
水分補給

経口補水液などを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合はすぐに救急車を！

救急車を呼んだ方が良いのか迷う時は #7119 に電話で相談を！

7 市長からのメッセージ



熱中症を防いで
夏を元気に過ごそう！